



# 駒澤会だより

第17号

2012年7月25日  
駒澤大学駒澤会発行



## 会長就任の御挨拶

会長 森屋正治

去る5月26日に開催されました駒澤大学駒澤会委員総会に於いて会長を仰せつかりました。

本会は昭和43年に父兄会（現教育後援会）OB有志の方々が卒業後の相互親睦をはかり大学興隆発展の為、特に奨学金給付制度を確立して少しでも大学また学生に寄与していきたいと云う念願で創立されました。昨年は創立40周年記念事業を終了出来ましたのも先人の方々、会員はもとより大学当局、宗門をはじめ関係各位の御協力御支援の賜物と記念事業実行委員長を務めさせて頂いた身として皆様方に敬意を表すと共に感謝申し上げます。

駒澤大学は平成24年10月15日に開校130周年を迎えます。節目の年に会長を仰せつかり微力ながら重責を務めさせて頂くにあたり皆様方の御協力御支援をお願い申し上げ皆様方の御健勝と御多幸そして駒澤会が駒澤大学と共にさらなる発展を遂げます様願ひ御挨拶と致します。



## 会長退任の御挨拶

顧問 井上俊夫

5月に開催されました委員総会におきまして、会長を退任致しました。在任中、会員の皆様には大変お世話になりありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

当初から重点事業として計画しておりました『40周年記念事業、及び当会の情報を発信し大学関係者・教育後援会の皆様の理解度向上を図る事』が推進出来たと考えております。具体的には、一昨年から40周年記念事業実行委員会を立ち上げ、資料の収集などの活動を開始し、昨年11月には祝賀会を行い、記念誌を発行する事が出来ました。

また、教育後援会の役員・委員の皆様との懇親会を年2回実施する事が出来ました。即、会員の増加に繋がる事は難しいですが、歩を進めることは出来たと考えております。

縁あって駒澤会に集い、共に活動してきた仲間として、今後共、駒澤大学・駒澤会が益々発展する事を祈念しております。

## 駒澤会新役員紹介

役員任期：平成24年5月～平成26年5月



会長  
森屋 正治



副会長  
一戸 隆男



副会長  
田中 隆一



副会長  
三崎 章子



監査  
赤堀 菊絵



監査  
鈴木 康元



監査  
吉田 洋一



総務部部長  
山田 直重



総務部副部長  
吉備 宣子



総務部副部長  
久野 文代



広報部部長  
荒井 喜久子



広報部副部長  
吉川 文子



広報部副部長  
村田 保廣



厚生部部長  
木村 朋子



厚生部副部長  
滝沢 憲示



厚生部副部長  
三浦 ひろ子

### 駒澤会参与のご紹介



教育後援会会長  
参与 佐藤 隆彦

平成24年度も教育後援会の  
会長・副会長に参与をお勤め  
いただいております。

更なる駒澤会の発展のため、  
若いお力を頂戴できればと  
思います。



教育後援会副会長  
参与 風間 孝夫



## 平成24年度駒澤大学駒澤会委員総会報告

総務部部長 山田直重

風薫る5月26日土曜日に、平成24年度駒澤大学駒澤会委員総会が、駒澤大学深沢校舎の講義室2-1において開催されました。定刻の午後3時になると、進行を務められる駒澤会総務部三崎章子部長による開会の宣言により委員総会が開会しました。

初めに駒澤会名誉会長である田中良昭駒澤大学総長よりご挨拶を頂きました。駒澤会の活動の柱である学生への奨学金授与に対しても意義ある活動であると、また、駒澤会の活動によるご縁が人生を豊かにするとのお話を述べられました。

ここから慣例により井上俊夫会長が議長となり議事に入りました。まず審議事項の第1項で平成23年度各部活動報告が、総務部は三崎章子部長より、広報部は鈴木康元部長より、また厚生部は田邊隆子部長より報告されました。次に第2項平成23年度決算報告を田中隆一副会長が報告され、基金管理状況報告を基金管理委員長の代理で三宅哲也監査が報告されました。また第3項会計監査報告が三宅哲也監査により行われました。今年は役員改選の年にあたり議題の第4項で会長・副会長・監査選任が審議されました。井上会長が次期候補者名を読み上げられました。新会長は現副会長の森屋正治氏、副会長に現監査の一戸隆男氏、留任の田中隆一氏と現総務部長の三崎章子氏の3名が発表されました。また、監査に現副会長の赤堀菊絵氏と現広報部長の鈴木康元氏および留任の吉田洋一氏が発表されました。以上7名の新役員は拍手多数をもって承認されました。第5項の平成24年度各部活動計画では、4月の部会及び役員会にて選任されていた各部の新部長が今年度の計画を発表されました。総務部の活動計画は今年度総務部長を務める山田直重が報告し、広報部は荒井喜久子新部長が、また、厚生部は木村朋子新部長が今年度の活動計画を報告されました。審議事項の第6項平成24年度予算案を田中隆一副会長が報告されました。これらの審議事項に対し質疑の受け付けをされましたが質問等なく全ての審議事項が拍手をもって承認されました。

この後、その他の事項で、基金管理委員長の代理として三宅哲也監査から駒澤会が学生への奨学金の原資として預かる基金のうち一部の運用先について、近年のリーマンショックやユーロ圏金融不安など大きく変動する世界経済情勢を考慮し、証券・債券の買い替えを基金管理委員会および役員会の裁量で可能にする件についての審議案が出されました。この件に対しては多数の方々から意見が出たのち、議長が総会としての賛否を挙手により取られ、満場一致で基金管理委員会および役員会に委ねる案を可決致しました。この議論の中では、基金は運用利益を追うもので無く、長期保有や資産保有の安全性を重視されている点がこの委員総会で示されていました。

以上、審議事項および報告事項を終了し午後5時10分に委員総会は閉会となりました。

その後、洋館小ホールにて教育後援会委員も御招待し、懇親会が開催されました。





## 平成24年新年賀詞交歓会報告

総務部副部長 久野文代

2月12日渋谷のセルリアンタワー東急ホテル地下2階弥生の間において、午後6時から駒澤会新年賀詞交歓会が開催されました。

今年から、教育後援会主催の新年賀詞交歓会は執行部・監査のみ招待となり、毎年の教育後援会主催の新年賀詞交歓会への出席を楽しみにしていた維持会員の方もたくさんいらっしゃるという事で、駒澤会主催の新年賀詞交歓会を企画いたしました。

当日は名誉会長の田中良昭先生、前名誉会長の大谷哲夫様、そして今年退職された文学部林達也先生なども出席され、小規模ながら和気藹々とした雰囲気の中で進行していきました。着席フルサービスという駒澤会の会員にとってはとても嬉しい形式でした。総務部の女性陣が秋葉原で選んだマッサージ器やヘルスメーターなどの景品でビンゴゲームも大いに盛り上がりあつという間に楽しい会は過ぎて行きました。





## 教育後援会と駒澤会の合同懇親会に参加して

教育後援会顧問・駒澤会維持会員 松浦 雅人

平成24年3月3日、駒澤大学深沢校舎において駒澤会と駒澤大学教育後援会の合同懇親会が開催されました。教育後援会からは委員10余名のご参加を頂き、『たいへん有意義な時間を過ごせました』との感想を頂戴しました。

実は合同懇親会の開催直前、『教育後援会委員の出席が芳しくない』との情報が入り、たいへん慌てました。教育後援会行事の節目にあたり、常に駒澤会事務局のご協力を戴きながら「駒澤会だより」を配布するなど、地道な広報活動を重ねていたからです。

まずは合同懇親会に相応しいバランスの取れた参加者数に落ち着けたく、教育後援会委員各位にご連絡を入れ、積極的なご参加をお願いしました。電話連絡の中で気が付いたことは、委員各位が駒澤会の敷居を高く感じられていることでした。『出席をどうしようか迷っていたところです』、『〇〇さんと一緒にないと心細い、〇〇さんが出席すればわたしも出ます』などのお声です。わたくしと岡田前副会長は駒澤会参与という形で、以前より駒澤会の行事に参加させて頂いておりましたので、その素晴らしさを承知しておりますが、委員各位には、そこまでの細やかな伝達できておりませんでした。また合同懇親会の参加を検討する委員各位が、最初の一步を踏み出せずに躊躇していることに気付かなかったことも深く反省する次第です。やはり会報だけでは理解できないものがありました。その上で、冒頭の通り出席された教育後援会委員より「有意義な時間を認識できた」という素直な感想を伺えたことは光明です。教育後援会委員各位には駒澤会を知る一步として、やはりこの合同懇親会にご参加頂くことが、入会へのきっかけにもなるはずで

自身、教育後援会のみなさまが迷うことなく、教育後援会の延長線上の行事としてご参加頂けますよう、駒澤会の一員としてその雰囲気づくりに微力ながら努めて参りますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。





## 初夏の親睦会報告

厚生部部長 木村 朋子

駒澤会「初夏の親睦会」が、紫陽花がきれいに咲く雨の中、6月9日（土）に開催されました。今回は、一戸副会長のご自宅を会場に、産地から取り寄せた食材で、豪華なバーベキューとなりました。

食材は、青森県八戸から取り寄せたそうで、メニューは取り寄せた海産物やお肉を使ったバーベキュー、ちゃんこ鍋、お刺身盛り合わせ、奥様のお手製サラダなど、非常に豪華なものでした。

デザートは、なんとチョコレートファウンテンもあり、盛り沢山の内容でした。

焼き方にお手伝いの方もいらしてくださり、準備から焼き加減迄、すべてお世話になってしまいました。

親睦会は、森屋会長のご挨拶から始まり、前名誉会長の大谷哲夫様にもご参加いただき、激励の「喝」をいただきました。あっという間に楽しい時間が過ぎていきました。

これからも、会員相互の親睦を深め、世代間の交流を図れるように、楽しい企画を考えていきたいと思います。

駒澤会の目的は、一人でも多くの会員を増やし、駒澤大学の学生のために奨学金援助を続けて行く事です。未来の子供達の為に、入会者が増えるよう、駒澤会を充実させてまいりましょう。



## 会員紹介①

駒澤会維持会員・福島県 武田 まゆみ

初めに、昨年の東日本大震災では、駒澤会役員の皆様よりいち早く安否確認のお電話をいただきまして、心より御礼申し上げます。その後も駒澤会よりお見舞いを送っていただき、重ね重ねありがとうございます。非常事態の最中、迅速な対応に当会の組織力のすばらしさを再認識した次第です。

大震災時は、福島県の内陸部に位置する自宅も例外ではなく、土蔵の大規模半壊等々、地震による甚大な被害が出ました。これまで担当の方より、度々原稿の依頼をいただきながら、震災後1年余りを経て、やっとお受けできるまでになりました。

さて、今回は「会員紹介」という内容の原稿依頼ですので、入会の経緯や、現在取り組んでいることについて書いてみます。郡山市で毎年開催されております教育懇談会には、息子が在学中は欠かさず出席し、職員や保護者の方との情報交換に努めてきました。その中で、奨学金給付の事業を知り維持会員に加えていただきました。入会後は恒例の新年会や研修会、講演会等に何度か参加しました。地方に住む私にとって、毎回趣向を凝らした企画は、大変興味深く楽しみなものでした。

現在、息子が就職したのを機に、放送大学の教養学部にて在学しています。子どもと入れ代わり、今度は母親の私が30数年ぶりに大学生となって、教育・福祉を学んでいます。いくつになっても、知識の習得は楽しいもので、視野が広がるにつれ、これからの人生を自分なりに豊かなものにしていきたいと考えるようになりました。

大学では、登山サークルに所属し心と体のリフレッシュに、先輩達と各地の山々にチャレンジしています。年齢を気にせず男子学生、女子学生となって過ごすひときは、何とも心地よいです。その他、ボランティア活動にも参加し、人との関わりを大切にしています。

最後になりましたが、会員の皆様との再会と、新たな出会いを心待ちにしております。



↑  
尾瀬のシンボリックな山豪快な眺めが魅力の東北最高峰「燧ヶ岳（ひうちがたけ）」にて上段左から2番目が武田さん

郡山市ふれあい科学館「スポーツパーク」にて案内のボランティアをしています（写真のビル最上階）案内ボランティアの出張活動（右上写真）

## 会員紹介②

### 一戸隆男氏の藍綬褒章を祝う

広報部部长 荒井喜久子

今年度駒澤会副会長に就任された一戸隆男氏は昨秋、永年にわたりビルメンテナンス業界発展に尽力してきた功績が認められ、藍綬褒章を受章されました。

受賞記念祝賀会が4月5日、帝国ホテルで盛大に行われました。会場にはビルメンテナンス協会の関係者やロータリークラブ、柔道関係者らが全国から駆けつけ一戸氏の受賞を祝福しました。歌手の堺正章氏が司会を務め開会の挨拶。続いて発起人を代表して全国ビルメンテナンス協会の名誉会長が挨拶。次に来賓として衆議院議員、講道館館長、拓殖大学理事長、石井清純駒澤大学学長が挨拶に立ち、「企業や業界の発展に尽力するのみならず柔道界や出身大学など、自らの関係先で力を惜しまず活躍される姿に敬意を表します。今後のますますのご活躍を祈念しています。」と祝辞を述べました。続いて、発起人や来賓の代表とともに鏡開きを行い、橋本聖子参議院議員の音頭で乾杯を行い祝宴に入りました。

最後に一戸氏が挨拶に立ち「協会、業界、大学関係者の方々、ロータリーの皆様のお世話によりまして、このようなお祝いの会を開催させていただくことが出来ました。身に余る光栄に、言い尽くせない感謝の意をこの場を借りて表明させていただきます。ますます身を粉にし、出来る限りの努力を続けなければならないと決意を新たにしています。また永年、陰に陽に支えてくれた妻と子供たち、そして困難をともに乗り越えてくれた社員各位に謝意を表します。最後になりますが、この場を借りてかさねて衷心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。」と感謝の気持ちを述べ謝辞とされました。

一戸氏は平成15年4月東京ビルメンテナンス協会会長に就任し現在に至ります。平成23年7月全国ビルメンテナンス協会会長に就任し現在に至ります。ほかにも建築物管理訓練センター理事長、世界ビルサービス連盟副会長、アジアビルメンテナンス連盟副会長などの要職に就き、業界の発展と技能向上、国民生活の向上のため走り続けています。

またこの度、駒澤大学駒澤会の副会長に就任し、大学・駒澤会の発展ためにも協力し、努力をするとの約束をしてくださいました。







↑  
駒澤会メンバーと共に  
後列右から3人目が一戸隆男氏



↑  
駒澤大学吹奏楽部による演奏




**Rotary International**  
**District 2580 ROTEX**

**Sosuke Ichinohe**  
一戸 曹佑



一戸隆男氏の息子（次男）、一戸曹佑さんに父への一言をインタビューさせていただきました。

Q. 「お父さんについて語ってください。」

A. 「僕にとって、父はとても素晴らしい人だと尊敬しています。時間があるときは必ず食事は一緒にし、リビングで語り合っています。だから、僕が思うには、父は子育てに手抜きをしない人だと思っています。またいつまでも元気でいてほしいと願っています。僕も、安心をしてもらえるように努力をしています。」と語ってくださいました。

大変好青年だとインタビューをして感動しました。

# 各部入部のお誘い

維持会員の皆様へ

駒澤会では、維持会員としてご登録頂いている皆様に、各部への入部をお誘いしています。会の運営を3つの部に分かれて担当して頂くこととなりますが、**近郊の方又は遠方でも2～3カ月に一度の会議に出席いただける方は是非ご検討ください。**皆様の入部をお待ちしています。希望される場合は、事務局：田村までご一報ください。

TEL：03-3418-9189

FAX：03-3418-9190

## 総務部

駒澤会の規程や運営費について検討し、駒澤会の活動がスムーズに行われるよう全体的な調整をしています。女性もたくさん活躍しています。

## 広報部

会報誌「駒澤会だより」の発行やPR活動を中心とし、制作経験の有無にかかわらず、率直に意見を出し合い、和やかに進めています。

## 厚生部

行事や企画の準備で会員が楽しく有意義な時間を過ごせるよう活動しています。旅行好きな会員も多いため、なかなか訪れる機会のない場所など考え活動しています。

## 基金管理委員会からのお知らせ

基金管理委員会では、昨年度の活動として、基金の運用・管理をベースに「基金管理の基本方針の検討・確認」、「会報を通じて運用状況の報告」を実施して参りました。

今年度も引き続き、会報による運用状況の報告を考えておりますが、基金の運用・管理につきまして会員の皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

### 駒澤会基金運用状況のお知らせ

運用先	4月～7月までの利金	備考
三菱UFJモルガンスタンレー証券	337,652円	グロソブ（毎月決算型）
みずほ銀行	17,306円	定期・普通預金利息
世田谷信用金庫	10,422円	定期・普通預金利息
合計	365,380円	

基金管理委員長

## 駒澤会奨学金について

24年度も下記のとおり奨学金が支給されました。

支給金額 総額500万円（20万円×25名）

奨学金授与式 平成24年7月18日（水）

出席者 駒澤会執行部

※詳細は駒澤会だより18号及び駒澤会HPでお知らせいたします。平成24年3月卒業生のご父母から多くの入会金（奨学金基金）をいただきました。改めて御礼申し上げます。

## 駒澤会奨学基金のご報告

駒澤会40周年記念「駒澤会奨学基金」に多くの方々から過分なるご寄付をいただきまして誠にありがとうございました。役員一同深く感謝いたしております。寄付状況を報告致します。

- ・6月末日現在、32名の方に460,000円ご寄付いただきました。
- ・奨学基金は継続して集めておりますので、ご協力いただける方はよろしくお願いたします。（郵便振替用紙等のお問い合わせは事務局までお願いします。）

## 事務局からのお知らせ

- ・本学OBの清水聡選手がボクシング日本代表（バンタム級）としてロンドンオリンピックに出場します。清水選手は前回の北京オリンピックにも出場しており、2大会連続出場の快挙を達成しました。  
ボクシング競技は7月28日からスタートとなります。清水選手の健闘を祈ります。

### 学校行事

7月 23日（月） 前期授業最終日  
9月 18日（金） 後期授業開始  
10月 15日（月） 第130回開校記念日  
11月3・4日（土・日） オータムフェスティバル

### 駒澤会行事

9月29日（土）～30日（日） 秋の研修会  
12月1日（土） 駒澤会忘年会  
12月 下旬 40周年記念誌発行  
25年 2月 駒澤会新年賀詞交歓会（予定）

## 訃報

永年にわたり駒澤会維持会員としてご活躍頂いた  
吉田瑛氏をご逝去されました。  
謹んでご冥福をお祈りいたします。



## 駒澤大学開校130周年 駒沢移転100年の記念シンボルマークが出来ました



開校130周年（平成24年度）、駒沢移転100年（平成25年度）を記念してロゴマークが作成されました。

スクールカラーである紫を基調に、お釈迦さまが悟りを開かれた所にあった樹木にちなみ「インド菩提樹の葉」、本学の前身である梅檀林に由来する「獅子図」をモチーフに取り入れ作成されました。

## 編集後記

広報部副部長 吉川 文子

駒澤会だより第17号が、無事発行できました。皆様のご協力を深く感謝しお礼申し上げます。

息子の駒澤大学卒業と同時に駒澤会の賛助会員になり、間において5年後の平成22年度から維持会員になりました。教育後援会の先輩委員のお誘いもあり、お陰様で楽しい委員活動をさせていただいております。

他にボランティアで区の青少年育成地区委員をしています。こちらの方は12年目になります。地域ぐるみで青少年の健全な育成を図っています。各部の活動がとても活発で、企画から事業までみんなで力を合わせて実施しています。事業のひとつに600人分のカレーライスを作り、子供たちや保護者に楽しんでもらっています。どの事業も準備が大変ですが、終わった時の達成感は何とも言えません。委員の年齢層が厚く、どこか駒澤会に共通しているような気がします。青少年育成も駒澤会も自分が元気でなければ活動できません。そして健康な身体は一日では作れません。これからも趣味のトールペイントや筋トレで心と体を元気にしていこうと思っています。

今後も駒澤会だよりを多くの方々にお届けし、皆様に駒澤会をより一層ご理解いただき、多くの学生に奨学金を支給できるようご協力をお願い申し上げます。



トールペイントの作品

駒澤大学  
駒澤会



### 駒澤会だより 第17号

発行日:平成24年7月25日  
発行者:駒澤大学駒澤会 広報部  
154-8525 世田谷区駒沢 1-23-1  
TEL:03-3418-9189  
FAX:03-3418-9190

駒澤会ホームページ<駒澤大学HPより>  
<http://www.komazawa-u.ac.jp>  
→ 在校生父母の方 ~ 駒澤会クリック